

初瀬のや里のうなゐに道とへば霞める梅の立枝をぞさす

契沖

山ざくら峰にも尾にも植ゑおかむ見ぬ世の春を人やしのぶと

西園寺公経

吉野山こそのしをりの道かへてまだ見ぬ方の花をたづねむ

西行

又や見む片野のみ野の桜狩はなの雪ちる春のあけぼの

藤原俊成

み山木のその梢とも見えざりし桜は花にあらはれにけり

源頼政

春の日のうららにさして行く舟は棹の霜も花ぞちりける

紫式部